

No.6

・準備書の 447 ページの BOD の水の汚れについての予測評価について、平水量時の予測に 12 月のデータを使用している。全体的に BOD が低いので大きくは変わらないかもしれないが、416 ページの BOD の測定結果については、11 月以外は数値が定量下限未満のデータが多い。せっかく 11 月の予測のデータがあるのでこれを使って予測したほうがいいと思うが、いかがか。

平成 27 年 11 月 17 日の水質、流量データを使用して河川の負荷量解析を行った結果を下表に示します。姫川本川の水質及び流量から、横川、その他支川の負荷量を算定したところ、それぞれの支川の流入負荷量が負の値となりました。

平成 27 年 11 月 17 日の負荷量解析結果

		地点② 第六下		地点③ 横川合流後		第七堰堤 上流
BOD	mg/L	1.1		0.7		0.5
流量	m <sup>3</sup> /s	7.63		8.92		12.41
負荷量	g/s	8.393		6.244		6.205
			↑ 横川		↑ その他支川	
BOD	mg/L		-1.7		-0.01	
流量	m <sup>3</sup> /s		1.29		3.49	
負荷量	g/s		-2.149		-0.039	

横川の負荷量=地点③負荷量-地点②負荷量

その他支川の負荷量=第七堰堤上流の負荷量-地点③負荷量

第七堰堤上流の水質は、地点④第七堰堤下流の水質を用いた。

調査当日の河川の様子を、写真-1~3 に示します。

姫川第六発電所取水堰堤の直上流では、姫川本川と上流側発電所からの放流水が合流しており、平成 27 年 11 月 17 日は、姫川本川で濁りが発生していますが、上流側発電所からの放流水は濁りが弱く、異なる水質の水が良く混ざらずに流下している状況でした。

姫川第六堰堤では堰堤両岸から放流があり、地点②第六堰堤下流の調査地点においても、水がよく混合していない状況で、通常とは異なる水質状況であったと考えられます。

したがって、平水時の予測条件としては適当でないものと判断します。



写真-1 姫六堰堤上流  
姫川本川に濁りあり（赤矢印）。  
上流側発電所放流（黄色矢印）は  
比較的濁っていない。



写真-2 姫六堰堤上流  
本川の水と上流側発電所放流水が  
よく混ざらずに流下している。



写真-3 姫六堰堤下流  
堰堤両岸で放流があり、採水地  
点で水が混ざっていない可能性  
がある。